



Desert Wind

Vol. 36, November 2009

● のがれの町 ●

(ヨシュア 20:1-9)

旧約聖書のヨシュア記に登場するヨシュアという人は、モーセの後継者として、イスラエルをカナンの地に導いた人ですが、征服したカナンの地をイスラエルの各部族に分割し、その後すくに行なったことは、『のがれの町』を定めたことでした。この『のがれの町』とは、あやまって、知らずに殺人を犯した者を、復讐をする者たちの手から守るための場所でした。神は何度もモーセに命じ、ヨシュアにも命じて、この町を造らせられたわけですが、何故それ程までにこだわりを持たれたのでしょうか。それは、この町の存在そのものが、神の本質に根ざしているものだからです。

① 『のがれの町』は神の愛の現われ

神は私たちの罪を裁かれますが、常にその目を裁きにはなく、赦すことに向けておられる方です。神は愛です。神は『のがれの町』を定めることによって、愛するとはどういうことを教えておられるのです。私たち人間は間違いや、失敗しやすい者です。神は、その事をよくご存知で、それに対する深い理解を示し、私たちの失敗を赦そうとされるのです。また、私たち人間同士の間でも、色んな間違いや失敗があります。そこで、私たちは人間の間違いや失敗を責めたり批判すること、さらに大きな間違いを犯し、人を傷つけてしまいます。

今の私たちにとっての『のがれの町』は、自分の間違いや失敗に対する人々の批判や無理解から自分を守ってくれる神の愛です。愛するということは、相手を理解してあげることです。神は、私たちが愛して下さるが故に、私たちの間違いや失敗を理解して下さい。さらに、そのような神の愛を知っている人々を『のがれの町』として用い、人々に対する理解を示させながら、人々の心の拠り所とされるのです。

② 神は人の心を見られる

『のがれの町』が造られた第二の理由は、神は結果では

なく、動機を重んじられるということです。人を殺してしまったという結果以上に、なぜそうだったのか、その動機を大切にされるのが神です。

マタイの福音書25章に、有名な羊と山羊のたとえ話があります。そこには、神から祝福される人々と神の祝福から外れる人々が登場します。まず神は右にいる人々に対して「あなたがたは、わたしが空腹のとき食べさせ、渴いたとき飲ませ、……。」と言われました。するとその人々は「主よ、いつ私たちはそうしましたか。した覚えはありません。」と答えました。次に、神は左にいる人々に、「あなたがたは、私が空腹のとき食べさせなかった。……。」と言われました。ところが彼らは「私たちはいつそうしませんでしたか。したではありませんか。」と答えます。

この両者の応答を通して、愛の特徴が見事に表わされています。愛とは、それをした人が自らの行為を自覚しないところにあります。私たちが天に召されたとき、神の前で問われるのは「あなたはそれを愛の動機によって成したかどうか」ということです。

③ あなたにはやり直しの機会がある

愛なる神は、人の間違いや失敗を罰することよりも、もう一度立ち直らせることを願われる方です。そして聖書全体に流れる大切な教えの一つは、「あなたにはやり直しの機会がある」ということです。聖書に登場する偉大な信仰者たちの誰もが間違いや失敗をした人々です。信仰の父アブラハムも、偉大な指導者モーセも、イスラエル最大の王ダビデも、またキリスト教史において最も活躍したパウロも、さらにキリストの弟子のリーダー格であったペテロも、みんな大きな失敗をした人々です。そんな彼らが、自分の罪を悔い改め、神に立ち返ったときに、神は彼らを赦し、祝福し、後世に残る偉大な働きを担わせて下さったのです。それは、愛の神が人々の『のがれの町』でいて下さるからです。

LVIJCC 牧師 鶴田健次

DREAMS COME TRUE

- ✦教会堂の建設
- ✦敬老ホームの設立
- ✦幼稚園の設立

お祈りのリクエスト

●日本の家族の救いのために

●各スモールグループのオニコス伝導のために

●入門者クラスのために(とよ子姉、田中兄、愛子姉)

●英語部の働きのために

●小さな子供を持つお母さん方のクラスのために(香織姉担当)

●癒しの祈り: Shawn 兄、和美姉、真奈美姉、みえこ姉、神崎先生の目、倉田一徳さんの脳腫瘍、新井雅之兄の癌、夕紀子姉、美津子姉、かよこ姉、Mary姉、以津子姉、エナちゃん、Kahokuさん

Desert Windでは1400字程度のお証、また質問を募集しています。ご意見・質問等何でもどうぞ。

lvjccnews@hotmail.com

編集: 松岡みどり



編集室 便り

皆さんお元気ですか。季節の変わり目なのでこのところ風邪をひいている方がたくさんいらっしゃるようです。主の癒やしの御手がそのお一人お一人の上にありますように。さて、季節の移り変わりは、私たちが住んでいるここラスベガスでも見ることができそうですね。色付いた木々や落ち葉など、この季節ならではの。先月カナダのバンクーバーに行った時に見たカエデやモミジの紅葉は本当に素晴しかったです。秋の紅葉は、まるで夜が始まる前の夕焼けに似ている、と思えました。万物の創造主である神様は、自然の美しさを通して神の大きな力を感じるようになってくれているのかなど、と実感です。主の豊かなご愛がこの地上に満ちあふれていることを感謝します。冬に向かいます折、皆様のご健康の守りと、祝福をお祈り致します。

— イスラエルの歴史 ⑤ —

・ 2000年10月 第二次インティファダ勃発

クリントン大統領は、キャンプデービッドにアラファト議長とバラク首相を招き、和平推進に向けて働きかけましたが、アラファト議長は一切の妥協を拒否し、イスラエルとの本格的な武力闘争の準備を開始し、ほどなく武装蜂起を開始しました。数年にわたるこの紛争は、「第二次インティファダ」と呼ばれます。

・ 2003年 和平ロードマップ成立

ヨルダンのアカバで和平会議が開かれ、米国主導で「和平ロードマップ」が成立しました。この和平案は、2005年までに三段階でパレスチナ独立国家とイスラエルとの共存を目指すものでした。しかしパレスチナ側では、ハマスが猛烈に反対してイスラエルに自爆攻撃を進め、これに対してイスラエルも報復攻撃が続きました。イスラエルは、テロリストの侵入を防ぐため西岸地区とイスラエルの間に「防護壁」の建設を開始しましたが、壁が入植地を取り込むような形で自治区内に建設されたため、多くの矛盾を生みました。防護壁の効果や、国防軍の厳しいテロ対策でテロは下火になりましたが、パレスチナのアッバス首相も辞任して、ロードマップは事実上停止してしまいました。2004年11月、アラファト議長が死去し、後を継いでアッバス氏が自治政府とPLOの議長に就任しました。

・ 2005年8月 ガザ撤退

シャロン首相の指揮で、ガザ地区からの全ユダヤ人入植地の撤去とイスラエル軍の撤退が行われました。ガザからの撤退という決断はイスラエルの世論を2分し、左派の人々は撤退に賛成、右派の人々は大反対しました。イスラエルの撤退を大英断として世界は称賛しましたが、ガザではイスラエルから返還された広大な入植地跡地をめぐる武装勢力の激しい抗争が起こりました。そして、ガザとエジプト間を支配していたイスラエル軍がいなくなったため、ガザとエジプト間には多数の密輸トンネルが作られ、莫大な量の高性能武器が持ち込まれました。イスラエルへのテロを積極的に進めていたハマスは「ガザ撤退は我々のテロの成果」と宣伝。パレスチナで

大きく人気を高めました。

・ 2006年 シャロン首相、植物状態に

シャロン首相は人気急落し、リクードの党首選で勝てないことが分かったため、自ら新しい中道政党カディマを立ち上げるという選択をしました。ところが選挙直前の1月に脳発作を起し、植物状態になってしまいました。後を引継いだオルマート氏は、カディマを勝利に導き、自ら首相に就任します。同じ1月、パレスチナでも選挙が行なわれましたが、ハマスが大勝。ファタハとハマスの権力闘争が激化しました。

・ 2006年7月 第二次レバノン戦争

レバノンの軍事組織ヒズボラが越境攻撃を行い、イスラエル兵士7人を殺害、また兵士2人を拉致するという攻撃を発端に、レバノン戦争が始まりました。イスラエルにはレバノンから4000発ものカチューシャ・ロケットが着弾し、多くの民間人が犠牲になりました。また地上戦では、多数の兵士が犠牲になりました。イスラエル軍はロケット攻撃に応酬して空爆を行い、レバノンに約1000人の犠牲者が出ました。

・ 2008年～2009年 ガザ戦争

ハマスはエジプトとの間に多数の武器密輸トンネルを掘り、大量の武器を搬入。イスラエルに向けて執拗なロケット攻撃を行いました。2008年6月には半年間の停戦合意ができましたが、12月に停戦期間が終わると、ハマスは停戦を破棄して、毎日数十発のロケット砲撃を行なったため、年末から年始にかけてイスラエルはガザに本格的な攻撃を行いました。この戦争では、ハマスは軍事的にはほぼ完敗、しかもハマスは民間人や民間施設を盾にして戦ったため、ガザ地区の被害は甚大で、1400人程度の死者が出たと言われます。しかし、このうち「民間人」の死者がどの程度だったかについて、双方の見解は一致していません。いずれにしても、多数の一般住民の命が失われたことは確かなので、世界中からイスラエルに対する非難の声が上がりました。

